

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	英語コミュニケーション I	3	1	全クラス

使用教科書	副教材等
All Aboard English Communication I (東京書籍)	All Aboard English Communication I Workbook (東京書籍) Essential Words(中部日本教育文化会)

科目の目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解し、その知識をもとに聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝えあっている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語の背景にある文化を理解し、英語を用いて積極的に言語活動を行い、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法
①【知識・技能】・・・課題テスト、定期テスト、単語小テスト、ワークシートなど
②【思考・判断・表現】・・・パフォーマンステスト、(英語でのスピーチ、ライティング、リスニングなど)、定期テスト(ライティング)
③【主体的に取り組む態度】・・・授業内の活動に対する取り組み状況(発表・ペアワーク・パフォーマンステストなど)、課題などの提出物

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	L1:Breakfast around the World	過去形	過去形を用いた文の形・意味・用法を理解し、過去にしたことについて伝えることができる。	○		
			世界の朝食の特徴や違いを理解し、好きな食べ物やその理由を伝え合うことができる。	○		
			好きな食べ物とその理由について自分の考えを英語で述べるができる。		○	
			好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。			○
5 6	L2:Australia's Cute Quokkas	進行形 (be動詞+～ing)	進行形を用いた文の形・意味・用法を理解し、今していることについて伝えることができる。	○		
			オーストラリアの珍しい野生動物について理解し、好きな動物やその理由を伝え合うことができる。	○		
			好きな動物とその理由について英語で述べるができる。		○	
7	L3:A Train Driver in Sanriku	助動詞 (can, will)	助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、できることとできないことについて伝えることができる。	○		
			列車運転士の職業観について理解し、自分ができることについて伝え合うことができる。	○		
			ある場所への行き方とそこでできること、自分ができることとできないことについて英語で述べるができる。		○	
			ある場所への行き方とそこでできること、自分ができることとできないことについて自分の考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。			○
9 10	L4:A Miracle Mirror	to 不定詞 (to 動詞原形)	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、情報や考え、気持ちを伝えることができる。	○		
			ウユニ塩原の雨季と乾季の違いを読み取り、情報や考え、気持ちを伝えあうことができる。	○		
			行ってみたい場所ややりたいことについて情報や考えを英語で伝えることができる。		○	
			行ってみたい場所ややりたいことについて自分の考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。			○
11 12	L5:Learning from the Sea	動名詞 (動詞のing 形)	動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、将来の夢や先週末に楽しんだことについて伝えることができる。	○		
			高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について伝え合うことができる。	○		
			将来の夢や先週末に楽しんだことについて自分の考えを英語で述べることができる。		○	
			将来の夢や先週末に楽しんだことについて自分の考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。			○
12	L6:A Funny Picture in the Edo Period	受け身 (be 動詞+過去分詞)	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、情報や考え、気持ちを伝えることができる。	○		
			歌川国芳の浮世絵の特徴を学び、自分の好きな絵について情報や考えを伝え合うことができる。	○		
			自分の好きな絵や写真の紹介と好きな理由を英語で述べることができる。		○	
			自分の好きな絵や写真について自分の考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。			○
1	L7:A Diary of Hope	比較表現 (+er)(the -est (as 原級 as))	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、関心ある人物について伝えることができる。	○		
			アンネフランクについて学び、関心のある人物について情報を整理して伝えることができる。	○		
			関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて、英語で説明することができる。		○	
			関心のある人物について自分の考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。			○
2	L8:A Door to a New Life	現在完了形 (have[has]+過去分詞)	過去分詞形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○		
			ロボットカフェについて学び、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案することができる。	○		
			人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考え、英語で提案することができる。		○	
			人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて提案する記事を書いたり話したりしようとしている。			○
2	L9:Fighting Plastic Pollution	名詞を後ろから修飾する分詞	名詞を後ろから修飾する分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○		
			プラスチックごみによる環境汚染の問題について学び、自分たちにできることを伝え合うことができる。	○		
			環境を守るために自分ができることについて自分の考えを英語で述べることができる。		○	
			プラスチックごみによる環境汚染の問題について自分のできることを話したり書いたりして伝え合おうとしている。			○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語コミュニケーションⅡ	3	2	全クラス

使用教科書	副教材等
All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍)	All Aboard! English Communication Ⅱ ワークブック (東京書籍)

科目の目標
<p>(1) 聞くこと 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと(やり取り) 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと(発表) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の特徴やきまり(音声、語彙、表現、文法など)について理解し、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。
② 思考・判断・表現	日常的・社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法
<p>評価の観点3項目に基づいて評価する。</p> <p>①知識・技能・・・課題テスト、定期テスト、小テスト、ワークシートなど</p> <p>②思考・判断・表現・・・定期テスト、パフォーマンステスト(リスニング、ライティング、英語でのスピーチ・発表・やり取りなど)</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度・・・授業内での活動に対する取り組み状況(発表、ペアワーク、グループワークなど)、授業プリントや課題の提出状況など</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Lesson 1	Coloful Island	関係代名詞whatを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			SNSにアップされた海外旅行の報告の概要を捉えることができる。	○	○	○
			海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて書いたり、伝え合ったりすることができる。	○	○	◎
5	Lesson 2	With the Beatles	比較表現<more><the most>を用いた文の意味・用法を理解している。	○	○	○
			世代を超えて人気のある音楽バンドや好きな人物について話されるスピーチや対話の概要を捉えることができる。	○	○	○
			好きな人物について、自分で調べた事柄を用いて理由などを書いたり、伝え合ったりすることができる。	○	◎	◎
7	Lesson 3	Wild Men	itを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			ヨーロッパの諸国の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチの概要を捉えることができる。	○	○	○
			身近な行事について自分で調べたことについて、情報や考えなどを書いたり、伝え合ったりすることができる。	○	◎	◎
9	Lesson4	Little hero	間接疑問文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えたり、物語の結末を想像したりすることができる。	○	○	○
			自分の好きな物語について調べた事柄について、紹介する文を書いたり、自分の考えや理由などを伝え合ったりすることができる。	○	◎	◎
5	Lesson 5	Special Makeup in Kabuki	to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドによる文章の概要を捉えることができる。	○	○	○
			日本の伝統文化について自分で調べ、その内容を紹介する文を書いたり、情報や考えを伝え合ったりすることができる。	○	◎	◎
12	Lesson 6	Seeds for Future Generations	動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			高校の部活動による京野菜についてのグループ発表や京野菜について書かれたポスターの記事の概要を捉えることができる。	○	○	○
			地元の有名な場所や物について紹介する文章やポスターを書いたり、それを使って紹介し合ったりすることができる。	○	◎	◎
1	Lesson7	Over the Wall	関係副詞where, whenを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			世界中で壁画を描く活動を行っている人物について書かれた話の概要を捉えることができる。	○	○	○
2	Lesson 8	Inspiration from Nature	自分自身を変えることや外国の人々と交流することについて、自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを伝え合うことができる。	○	◎	◎
			知覚動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			生物模倣についてのオンライン講義の授業や痛くない注射針について書かれた記事の概要を捉えることができる。	○	○	○
			自然界のデザインをヒントに開発された製品について、自分で調べた事柄を用いて紹介記事を書いたり、それを基に話したりすることができる。	○	◎	◎

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	論理・表現 I	2	2	人文社会・自然科学系列

使用教科書	副教材等
VISTA: Logic and Expression I (三省堂)	VISTA: Logic and Expression I サブノート(三省堂)

科目の目標
 1年次「英語コミュニケーション I」の学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力」を基に、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした発信能力を更に伸ばしていきます。特に、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝えること、伝え合うことに重点を置いて学習します。具体的には、デモンストレーションやモデルとなる文章等を豊富に提示し、それらを活用しながら話したり書いたりする力を総合的に伸ばします。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の学習を通じて言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。英語の音声、語彙・表現、文法を、において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	場面・目的・状況等に応じて、様々な話題について情報や考え等の概要・詳細・意図を的確に理解したり、適切に表現したりしている。また、「話すこと」「書くこと」を通して、情報や考え等の概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	英語を聞いたり読んだりして、情報や考え等を積極的に理解しようとしている。積極的・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。また、他者を尊重し、他者に適切に配慮しながら、自分の意見や考えを英語で話したり書いたりして表現しようとしている。

評価方法
 評価の観点3項目について評価する。
 ①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど)
 ②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど)
 ③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりと学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Lesson 1 Bouldering? How Nice!	現在形(be動詞/一般動詞)	●自己紹介をするために、「クラブ活動」「高校でしてみたいこと」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 ●共感を示す表現を使いながらやりとりができる。	○	○	○
5	Lesson 2 Famous People	過去形(be動詞/一般動詞)	●相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。 ●興味のある人物について、形式を意識して簡単な英語を用いて発表することができる。	○	○	○
	Lesson 3 Aquarium Adventure	現在進行形/過去進行形	●SNSで伝えられるように、「今していること」や「過去にしていたこと」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	○	○	
6	Lesson 4 My Summer Plan	未来を表す表現 (will/be going to)	●夏休み予定を伝え合うために、「予定」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。	○	○	○
	Lesson 5 UFO Sightings	現在完了形①(経験/継続)	●「自分が経験したこと」を紹介するために、「経験」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などをまとめ、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。	○	○	○
7	Lesson 6 Homestay	現在完了形② (完了/現在完了進行形)	●英語でメールを書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 ●論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	○		
9	Lesson 7 Which Is Faster?	比較表現 (比較級/最上級/as...as ~)	●様々な比較するために必要な表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開に工夫して話して伝え合うことができる。	○	○	○
	Lesson 8 Great Inventions	助動詞①(can/may)	●身の回りにあるすぐれた「発明品」を紹介するために、「発明」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。	○		
10	Lesson 9 Save the Earth	助動詞② (must/have to/should)	●「環境問題」についてのホームページを作成するために、「環境問題」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	○		
11	Lesson 10 Masterpiece	受動態	●様々な「芸術作品」について話すために必要な表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。	○	○	○
	Lesson 11 My Future Job	不定詞① (名詞的用法)/動名詞	●「将来になりたい職業」について発表するために、「職業」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。	○	○	○
12	Lesson 12 World Heritage	不定詞② (副詞的用法/形容詞的用法)	●「世界遺産」を紹介するホームページを作成するために、「世界遺産」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	○		
1	Lesson 13 Pictogram	分詞(現在分詞/過去分詞)	●「人々の様子」や「ピクトグラム」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●「人々の様子」や「ピクトグラム」に関する情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。	○	○	○
	Lesson 14 Cool Japan	関係代名詞	●「日本文化」を海外へ発信するために、紹介したい「日本文化」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫し、理由とともに話して伝えることができる。	○	○	○
2	Lesson 15 What's SDGs?	仮定法(If ~ / I wish ~)	●「国際協力」についての意見や感想を書くために、「SDGs」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	○		
2	Lesson 15 What's SDGs?	仮定法(If ~ / I wish ~)	●「国際協力」についての意見や感想を書くために、「SDGs」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	○		

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	論理・表現Ⅱ	2	3	人文社会・自然科学系列

使用教科書	副教材等
VISTA Logic and Expression Ⅱ(三省堂)	VISTA Logic and Expression Ⅱ サブノート(三省堂)

科目の目標 2年次「論理・表現Ⅰ」の学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力」を基に、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした発信能力を更に伸ばしていきます。特に、論理の構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝えること、伝え合うことに重点を置いて学習します。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の学習を通じて言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。英語の音声、語彙・表現、文法を、において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	場面・目的・状況等に応じて、様々な話題について情報や考え等の概要・詳細・意図を的確に理解したり、適切に表現したりしている。また、「話すこと」「書くこと」を通して、情報や考え等の概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	英語を聞いたり読んだりして、情報や考え等を積極的に理解しようとしている。積極的・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。また、他者を尊重し、他者に適切に配慮しながら、自分の意見や考えを英語で話したり書いたりして表現しようとしている。

評価方法 評価の観点3項目について評価する。 ①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど) ②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど) ③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)

学習計画				評価の観点		
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	①	②	③
4	L1 Guess who?	質問する 描写する	紹介したい人物やキャラクターについて特徴を理解して考えを深めることができる。自分の考えや気持ち、情報などを論理の構成や展開を工夫して、話して伝えることができる。	○	○	
5	L2 Space Travel	希望・願望を表す	宇宙で体験してみたいアイデアについて「希望」「願望」の表現を用いて自分の考えや気持ち、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○		
6	Lesson3 Where is the post office?	場所・行き方をたずねる/ 位置・方向を示す	道案内をするために「道順」や「目印」などについて自分の考えや気持ち、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができる。	○	○	○
7	Lesson4 Wonderful World	具体的に説明を加える	世界のおすすめスポット」のポスターを書くために、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○	○	
9	Lesson5 Job Search	図表を説明する	面接で自分をアピールするために、「職業」などについて、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。	○	○	○
10	Lesson6 New-type Robots!	誘う、能力を表す	ロボットコンテストに出展するために、「ロボット」などについて、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○	○	
11	Lesson7 Enjoy Japanese Foods	数量を表す 順序・経過を表す	外国の人に「和食」を紹介するために、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。	○	○	
12	Lesson8 Looking for an Apartment	部屋の配置 対比する	ルームメイト募集の広告を書くために住居についての情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○	○	
1	Lesson9 Ideas from Nature	名称を表す 理由を述べる	身近なバイオミクリーについてプレゼンテーションするために情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。	○	○	
2	Lesson10 Let's Learn about SDGs!	出典・引用を表す	「社会問題とその解決のためにできること」のアイデアに応募するために情報や特徴、自分の考えを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語コミュニケーションⅡ 演習	2	3	自由選択B群

使用教科書	副教材等
	英語総合問題集UNITE STAGE2(数研出版)

科目の目標
英語コミュニケーションⅡの学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力を基に、英語で、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解し、その知識をもとに聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝えあっている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語の背景にある文化を理解し、英語を用いて積極的に言語活動を行い、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法
評価の観点3項目について評価する。 ①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど) ②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど) ③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	L2	時制	基本時制、進行形について理解し、適切に用いて表現することができる。 イラストについての質問に答える。	○	○	
5	L3	完了形	完了形を用いた表現について理解し、適切に用いて表現することができる。 英文を読んで、文章の誤りを見つけ、正しい表現に直すことができる。	○	○	○
6	L4	助動詞	助動詞の基本的な用法や<助動詞+have+過去分詞>について理解し、適切に用いて表現することができる。 会話を聞いて状況を正確に聞き取ることができる。	○	○	
7	L5	受動態	受動態について理解し、適切に用いて表現することができる。 ダイアログにある空欄の文を考え、会話を完成させることができる。	○	○	○
9	L6 L7	不定詞	不定詞の基本的な用法、不定詞の意味上の主語、原形不定詞などについて理解し、適切に用いて表現することができる。 表を見ながら、内容を読み解くことができる。	○	○	
10	L8	動名詞	動名詞の基本的な用法、意味上の主語について理解し、適切に用いて表現することができる。 指定された語を用いて英語で説明文を書くことができる。	○	○	○
11	L9	分詞・分詞構文	分詞の形容詞的用法や分詞構文について理解し、適切に用いて表現することができる。 メモをもとに指定された語を用いて発表用の原稿を書くことができる。	○	○	○
12	L10	準動詞のまとめ	準動詞(不定詞、動名詞、分詞)を含む英文を読んで理解したり、それらを適切に用いて表現することができる。 英文を読んで事実と意見を判別することができる。	○	○	
1 2	L12 L13	関係詞	関係詞の基本的な用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 オンラインショッピングで購入した商品についてのレビューを英語で書くことができる。	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語発展演習	2	3	自由選択C群

使用教科書	副教材等
	英語総合問題集 TREASURE HUNT 4(数研出版)

科目の目標 (1)聞くこと 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2)読むこと 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (3)話すこと[やり取り] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。 (4)話すこと[発表] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 (5)書くこと 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章で書いて伝えることができるようにする。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解し、その知識をもとに聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる演習において、発展的な技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝え合っている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語の背景にある文化を理解し、英語を用いて情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝え合おうとしている。

評価方法 評価の観点3項目に基づいて評価する。 ①知識・技能・・・課題テスト、定期テスト、小テストなど ②思考・判断・表現・・・定期テスト、パフォーマンステスト(リスニング、ライティング、スピーチ・発表・やり取りなど) ③主体的に学習に取り組む態度・・・パフォーマンステストに対する取り組み、授業内活動に対する取り組み、課題の取り組みなど
--

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	UNIT 1 UNIT 2	時制 完了形	<ul style="list-style-type: none"> ●基本時制、未来進行形、時を表す副詞節について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●短い対話を聞いて、適切なイラストを選ぶことができる。 ●完了形(現在完了・過去完了・未来完了)について理解し、適切に用いて表現することができる。 	○		
5	UNIT 3	助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な助動詞、過去の習慣を表す助動詞について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●天気予報を聞き、適切に理解することができる。 	○	○	○
6	UNIT 4 UNIT 5	不定詞 受動態	<ul style="list-style-type: none"> ●受動態について理解し、適切に表現することができる。 ●応用的な不定詞や使役動詞について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●図や表などの複数の情報を用いながら、対話を読んで理解することができる。 ●短い対話を聞いて、会話の最後の言葉に対する応答を適切に選ぶことができる。 	○		
7	UNIT 6	不定詞・動名詞	<ul style="list-style-type: none"> ●不定詞と動名詞の用法の区別をして、適切に用いて表現することができる。 ●短い対話を読んで、発言の意図や気持ちを理解することができる。 	○	○	○
9	UNIT 7 UNIT 8	分詞	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な分詞の用法や分詞構文について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●広告を読んで、適切に内容を理解することができる。 ●説名を聞いて、内容が示すグラフを適切に選ぶことができる。 	○		
10	UNIT 9	関係詞①	<ul style="list-style-type: none"> ●関係代名詞について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●論理的な文になるように英文を並び替えて表現することができる。 	○	○	○
11	UNIT 10	関係詞②	<ul style="list-style-type: none"> ●関係代名詞whatと関係副詞について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●英文を読んで、未知の言葉を前後の文脈から推測することができる。 ●英文アナウンスを聞いて、情報を整理することができる。 	○		
12	UNIT 11 UNIT 12	比較	<ul style="list-style-type: none"> ●比較表現について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●グラフや広告などの複数の情報を読んで、理解することができる。 ●講義を聞いて、情報を整理することができる。 	○	○	○
1 2	UNIT 13 UNIT 14	仮定法	<ul style="list-style-type: none"> ●仮定法について理解し、適切に用いて表現することができる。 ●英文を読んで、展開の注意して、序論・本論・結論を表にまとめることができる。 ●英文アナウンスを聞いて、情報を整理することができる。 	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語基礎演習	2	3	自由選択 F・G群

使用教科書	副教材等
	英語総合問題集UNITE1(数研出版)

<p>科目の目標</p> <p>英語コミュニケーションⅡの学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力を基に、英語で、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。</p>
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解し、その知識をもとに聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝えあっている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語の背景にある文化を理解し、英語を用いて積極的に言語活動を行い、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

<p>評価方法</p> <p>評価の観点3項目について評価する。</p> <p>①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど)</p> <p>②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど)</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	L1	文の種類	英文の決まりを理解し、適切な種類の文を用いて書いたり、話したりできる。日常生活について英語でやり取りができる。	○		
5	L2	文型	文の構成要素や文型を理解し、適切な文型で、表現することができる。イラストの内容を英語で描写することができる。	○	○	○
6	L3	時制1	現在形、過去形、進行形について理解し、適切に用いて表現することができる。身近なテーマを決めて簡単なエッセイを書くことができる。	○	○	
	L4	時制2	未来を表す表現について理解し、適切に用いて表現することができる。明日の予定について英語でやり取りができる。	○	○	○
7	L5	時制3	完了形を用いた表現について理解し、適切に用いて表現することができる。伝えたい内容をメモにまとめることができる。	○	○	
9	L6	助動詞	助動詞の基本的な用法や助動詞+have+過去分詞の形について理解し、適切に用いることができる。掲示物の内容を英語で説明できる。	○	○	○
	L7	受動態	基本的な受動態について理解し、適切に用いて表現することができる。イラストの内容を英語で描写することができる。	○	○	
10	L8	不定詞1	不定詞の基本的な用法について理解し、適切に用いて表現することができる。団体旅行と個人旅行のどちらがいいかについて自分の意見を述べるすることができる。	○	○	○
	L9	不定詞2	不定詞を用いた重要表現を理解し、適切に用いて表現することができる。旅行プランについてメッセージのやり取りをすることができる。	○	○	○
11	L10	動名詞	動名詞を用いた重要表現を理解し、適切に表現することができる。人物の特徴を的確に描写したり、他人に伝えることができる。	○	○	
	L11	分詞	分詞を用いた重要表現を理解し、適切に用いて表現することができる。環境問題について自分の意見を述べるすることができる。	○	○	
12	L12	比較	比較表現を正しく理解し、適切に用いて表現することができる。グラフや表を読み取り、他者に伝えることができる。	○	○	○
1	L13	関係代名詞	関係代名詞を用いた重要表現を理解し、適切に用いて表現することができる。学校や、地域について英語で紹介することができる。	○	○	
2	L14	接続詞	接続詞を理解し、適切に用いて表現することができる。宇宙について、自分の意見を述べるすることができる。	○	○	
	L15	仮定法	仮定法過去/願望を表す用法について理解し、適切に用いることができる。自分の願望について、仮定法を用いて表現することができる。	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	外国語探究	2	3	人文社会系列あるいは自然科学系列

使用教科書	副教材等
未定	

科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による利くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図る。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	資料から外国語に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	課題を主体的に追究しようとしている。

評価方法

- ①小テスト、ワークシート
- ②ワークシート、小テスト、レポート、プレゼンテーション
- ③ポートフォリオ・ワークシート・レポート・プレゼンテーション

学習計画

月	内容	単元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5	外国語に関する事象を個人またはグループごとに選択し、資料を活用し、基礎科目で身に付けた資質・能力を用いて多面的・多角的に考察、構想し、レポート等にまとめ発表する探究活動を行なう。	主題の設定	「英語コミュニケーションⅠ」の学習を踏まえて、生徒自身が主題を設定し、問い(学習上の課題)や仮説を立てる。	◎	○	○
6 7		情報の収集・分析	教科書、資料集、新聞、テレビ、インターネット、図書館、科学館等の活用し、情報を収集し、分析する。	◎	◎	○
9 10		考察・構想	言葉による見方・考え方を働かせ、集めた情報を効果的に表現する。	○	◎	○
11 12		まとめ・表現	考察、構想したことから得られた結論をレポートにまとめ、プレゼンテーションを行ない、相互に説明したり意見を聴いたりする。	○	◎	◎
1		学習の振り返り	探究活動を振り返り、新たな課題を考察し、今後の学習につなげる。	○	○	◎